

## 令和5年度学校評価アンケート(保護者編) 集計結果

NO.	質問内容	肯定 (%)	否定 (%)	肯定	否定
1	お子様は大山口中学校が好きですか。	92	8	92	8
2	お子様は自分を大切にしていますか。	96	4	96	4
3	お子様は周りの人を大切にしていますか。	98	2	98	2
4	お子様は自ら進んで学習していますか。	64	36	64	36
5	お子様は誰にでも優しく接していますか。	94	6	94	6
6	お子様はものを大切にしていますか。	87	19	87	19
7	お子様は自分を鍛えようとしていますか。	69	31	69	31
8	学校は個に応じた授業を工夫していますか。	74	26	74	26
9	お子様は意欲的に学習に取り組んでいますか。	63	37	63	37
10	お子様は授業がわかると言っていますか。	69	31	69	31
11	お子様は家庭学習をしていますか。	77	29	77	29
12	お子様は学校生活のルール(基本的な生活習慣)が守られていますか。	93	7	93	7
13	学校は保護者やお子様からの相談に丁寧に応じていますか。	93	7	93	7
14	お子様には気軽に話せる友人がいますか。	92	8	92	8
15	お子様には気軽に話せたり相談できる先生がいますか。	73	27	73	27
16	お子様は身の回りの整理整頓ができていますか。	52	48	52	48
17	学校行事はお子様の成長に結びついていますか。	94	6	94	6
18	お子様は生徒会活動や学級活動に意欲的に取り組んでいますか。	79	21	79	21
19	お子様は部活動に意欲的に参加していますか(いましたか)。	83	17	83	17
20	学校目標や学年目標は保護者に伝わっていますか。	72	28	72	28
21	学校からの必要な情報が保護者に伝わっていますか。	85	15	85	15
22	学校は保護者や地域からの願いに応じた教育をしていますか。	87	13	87	13
23	学校は環境整備や安全への配慮ができていますか。	92	8	92	8
24	学校は生徒個々の特性やニーズに応じた支援を行っていますか。	80	20	80	20

# 令和5年度学校評価アンケート（保護者編） 考察

## 1 肯定的な回答が多かったもの

設問2「お子様は自分を大切にしていますか」、設問3「お子様は周りの人を大切にしていますか」の2つの項目に対し、95%を超える肯定的な回答が寄せられた。本校においても重点目標として力を注いでいることであり、成果として認識されていることを非常にうれしく思う。同時に、家庭との連携なくしては実現しないことであり、保護者の方々にも感謝申し上げたい。

また、設問5「お子様は誰にでも優しく接していますか」においても94%の肯定的な回答が寄せられている。自分だけでなく、自分の周りも大切しようとする姿勢が、誰にでも優しく接する態度につながっているものと考えられる。

設問17「学校行事はお子様の成長に結びついていますか」について、94%の肯定的な回答が得られた。コロナ禍を経て、形態を工夫しながら行事を運営していること、新たな形の行事を自分たちの力で創り上げていこうとする生徒の前向きな姿勢の賜物である。また、そのような生徒の活躍の場を保護者に公開できる機会が増えていることで、生徒の成長を保護者にも認識してもらえることにつながっているのだと考えられる。

## 2 否定的な回答が多かったもの

最も割合が高かったものが設問16の「お子様は身の回りの整理整頓ができていますか」で、48%の否定的な回答が寄せられている。家庭の中で顕著にみられるが故の結果であると思われるが、学校生活における課題のひとつでもある。今後の生活において、重点を置いて指導にあたっていきたいと思う。

次に割合が高かったものが、学習面に関する設問4、9、10、11である。意欲的な学習への取り組み、授業や家庭学習に関する設問に対する否定的な回答が30%前後で推移し、昨年度のアンケートでも同じような傾向を示している。近年、本校が抱える最大の課題ともいえる。本校としても対策を講じているところではあるが、その成果を実感するまでには至っていないという実態が浮かび上がってくる。引き続き、学習指導の工夫、授業改善に向けて取り組みを進めていきたいと思う。






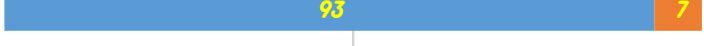

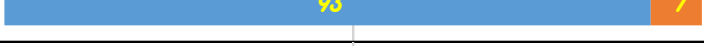


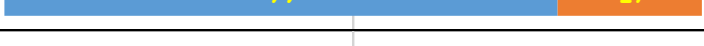




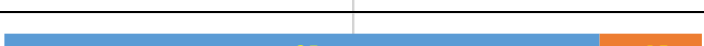
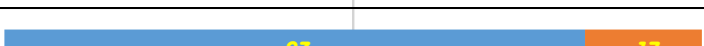





設問7の「お子様は自分を鍛えようとしていますか」に対して、保護者の肯定率が69%に対し、生徒の肯定率が84%と大きな開きが見られた。生徒に対してさらなる成長を望んでいる保護者の期待度が大きいことが見て取れる。

## 3 総合的に

設問18「お子様は生徒会活動や学級活動に意欲的に取り組んでいますか」について、昨年度との比較において肯定率が7%のダウンとなっている。実態としては、ほとんどの生徒が意欲的に取り組んでいると感じられる。各種たよりや保護者会、ホームページ等において生徒の取り組みの成果や成長の跡を保護者が認識できるように努めていきたい。

設問1「お子様は大山口中学校が好きですか」や設問22「学校は保護者や地域からの願いに応じた教育をしていますか」、設問23「学校は環境整備や安全への配慮ができていますか」について、90%前後の肯定的な回答が寄せられた。生徒たちが安全・安心で、充実した学校生活を送れていると保護者の方々にも実感していただいていることがうかがえる。これらの成果は保護者の方々の協力があってこそのものである。より学校と保護者（家庭）が連携を密にし、生徒を健やかに育ていけるような環境づくりに引き続き努めてまいりたいと思います。

## 令和5年度学校評価アンケート(生徒編) 集計結果

NO.	質問内容	肯定 (%)	否定 (%)	肯定	否定
1	大山口中学校が好きですか。	86	14		
2	自分を大切にしていますか。	86	14		
3	周りの人を大切にしていますか。	97	3		
4	自ら進んで学習していますか。	77	29		
5	誰にでも優しく接していますか。	90	10		
6	ものを大切にしていますか。	93	7		
7	自分を鍛えようとしていますか。	84	16		
8	先生は個に応じて一生懸命に教えてくれていますか。	93	7		
9	自分から授業に進んで参加していますか。	87	13		
10	授業はわかりやすいですか。	86	14		
11	家庭学習をしていますか。	79	21		
12	学校のルール(基本的な生活習慣)を守れていますか。	96	4		
13	先生は相談に応じてくれますか。	96	4		
14	気軽に話せる友人がいますか。	94	6		
15	気軽に話せたり相談できる先生がいますか。	79	21		
16	清掃は丁寧にできていますか。	90	10		
17	学校行事から学ぶことがありますか。	85	15		
18	生徒会活動や学級活動に意欲的に取り組んでいますか。	83	17		
19	部活動に意欲的に参加していますか(いましたか)。	88	12		
20	学校目標と学年目標を知っていますか。	77	23		
21	学校からの情報を保護者に伝えていきますか。	90	10		
22	先生は生徒個々の特性やニーズに応じて接していますか。	90	10		

# 令和5年度学校評価アンケート（生徒編） 考察

## 1 肯定的な回答が多かったもの

設問3「周りの人を大切にしていますか」に対しては97%の肯定的な回答が得られた。道徳科や日常の学校生活において、自分を大切にすることと同時に周囲の人も大切にできることの大切さを指導している。その意識が多く生徒の中で浸透していることがうかがえる結果となった。また、設問14「気軽に話せる友人がいますか」の対しても94%の肯定的な回答が得られた。周りの人を大切にするという意識をもつことで、人間関係が円滑になっているのだろうと考えられる。

設問12「学校のルール（基本的な生活習慣）を守れていますか」に対しては96%と高い肯定率となっている。集団として生活する中で、本校の生徒が安心・安全な生活を送ることができたためには必要不可欠な要素である。今後も高水準が維持・向上できるように指導・支援にあたっていきたい。

設問8「先生は個に応じて一生懸命に教えてくれていますか」では93%の肯定的な回答が得られた。学力向上を念頭にした授業改善の中で、個に対する対応は重点項目のひとつである。個に応じた指導が生徒に認識されているという事実は、授業改善は途上であるとしても、着実に前進していることが認識できるという意味で好材料である。

## 2 否定的な回答が多かったもの

設問4「自ら進んで学習していますか」が29%、設問11「家庭学習をしていますか」が21%と学習に関する否定的な回答が、昨年度と同程度で推移している。現在、本校では「学力向上」を共通の目標として掲げて授業改善を図っているところである。授業においては生徒同士のやり取りや意見交換、ICTの活用や学び合い等を取り入れた形態を実践している。現状を分析しつつ、学力向上とともに学習への意欲的な態度を育成できるよう、引き続き授業改善に努めていきたい。

設問20「学校目標と学年目標を知っていますか」では23%の否定的な回答が得られた。目標を意識していなくても達成されている部分があるという事実はあるものの、日常生活において目標の周知と共通行動を全生徒に意識させ、よりよい学校づくりを実現させていきたい。

## 3 総合的に（他の項目や昨年度との比較から）

設問4「自ら進んで学習していますか」に対して肯定率が71%と、昨年度に比べて6%のダウンとなっている。生徒たちの情緒面を考慮すること、興味・関心を引き出せるような学習を展開していくことを通して、学習への動機づけを向上させていきたい。

また、設問10「授業は分かりやすいですか」は肯定率86%であるものの、昨年度に比べて7%のダウンとなっている。また、保護者のアンケートにおいても70%を割る肯定率である。「学力向上」に向け授業改善を進めているところであるが、目に見える成果として現れていないことが浮き彫りとなった。現在の取り組みに対する現状を分析し、さらなる改善に努める必要があると考える。

設問13「先生は相談に応じてくれますか」に96%の肯定的な回答が得られたのに対し、設問15「気軽に話せたり相談できる先生がいますか」では79%の肯定率である。先生とは日常のちょっとした悩みや困りごとを気軽に相談できる存在であることを認識できるような距離感を実現するとともに、生徒と向き合える時間をさらに確保できるように努めたいと思う。